

2022年6月9日(木) 「世界の人たれ」講演会を実施しました

於: 島根県民会館

講師 土岐祐一郎 (どき ゆういちろう) 氏

大阪大学医学部医学系研究科 外科学講座消化器外科学 教授

主な経歴 1979年3月 島根県松江北高等学校 理数科 卒業

1985年3月 大阪大学医学部医学科 卒業

1993年 米国コロンビア大学 Presbyterian 癌センター 研究員

2008年 大阪大学医学部医学系研究科 外科学講座消化器外科学 教授 (～現在)

2020年 大阪大学附属病院 病院長 (～2022年4月)

演題 「外科医という仕事を選んで」

お父様が松江北高校の数学教員であったことから、旧川津校舎敷地内にあった教員官舎で幼少期を過ごされた土岐祐一郎先生は、高校時代、担任の先生に叱られた話や大学での成績表など、学生時代どのように過ごしてきたかを、会場の笑いを誘うユーモアを交えてお話くださいました。大阪大学医学部進学にあたっては、高校生のときに読んだ小説のモデルに憧れがあった、とのことでした。

医学部を卒業され、「外科」を診療科として選ばれたあとは、先輩医師に言われた「動かずに後悔するより、動いて後悔しろ」という言葉どおりに、患者に迷惑はかけられない、とより多く接したり、勉強や努力を重ねられた結果、「得られたものは、患者様からの信頼と感謝の言葉」だったそうです。

講演の最後には、「逃げるは恥だが役に立つ」「努力しない夢は意味がない。努力することが大切」「少しでも背伸びをしよう」「上手いかなかった手術のことで落ち込んでいる暇はなかった。次にどうするかを常に考えた」など、前向きになる心強いメッセージをいただきました。

土岐先生、どうもありがとうございました。

